第３回ホームヘルパー全国交流集会

今年でホームヘルパーの全国交流会は、第３回目を迎えます。

介護保険後、ヘルパーは、さまざまな問題をかかえながら、大変きびしい労働条件のなかで仕事をしてきました。とくに、家事援助の単価の低さや、時間単位での細切れ業務の問題、直行直帰の問題や研修、事例検討の保障がない問題、さらには交通費や労働災害や感染症の問題など、あげればきりがないほどです。

私たちは、ホームヘルパーの仕事を、とても誇りに思っています。さまざまな利用者宅に訪問して、その人らしさを尊重しながら生活支援をおこない、利用者の生きる意欲を高めて生活を改善をしていく、大切な仕事だからです。しかし、現実には、ヘルパーの社会的地位は低く、研修や技術向上の機会も与えられないまま、安あがりの仕事としてあつかわれたままです。

私たちは、一昨年、ホームヘルパー全国連絡会を結成し、こうした問題をテーマに、ヘルパー自身が企画をし、ヘルパー同士で学び合い交流する場所として、毎年、全国交流集会を開いてきました。

今年も、事例検討を中心に、交流と研修をおこないたいと思います。多数のご参加をお待ちしています。

日　時　２月１６日（日）

午前10時から４時４５分まで

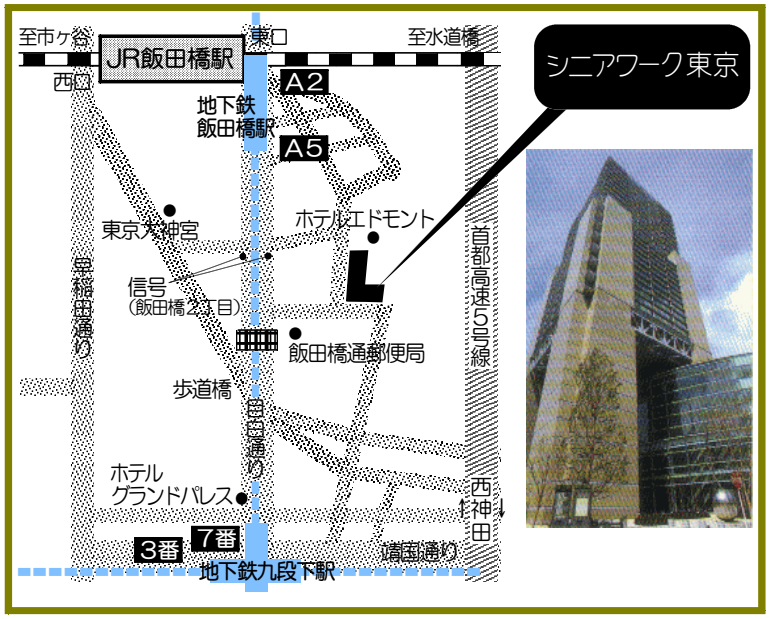
（10時～10時45分までは、ホームヘルパー全国連絡会の総会を行ないます）

場　所　シニアワーク東京

（東京都高年齢者就業センター）

◉分科会は地下２階講堂およびセミナー室
富士見区民館・瓦会館

①ＪＲ中央線　飯田橋駅東口　徒歩７分
②地下鉄　飯田橋駅　徒歩７分
（営団東西線・有楽町線・南北線／都営大江戸線）
③地下鉄　九段下駅　徒歩10分
（営団半蔵門線／都営新宿線）



参加費　会員６００円　非会員１０００円

＊参加者数３００名（先着順）で締め切りますので、参加希望の方は、参加申し込みをご記入のうえ、ＦＡＸ（ファックス）か郵送でお送り下さい。

〈主催・お問い合わせ先〉ホームヘルパー全国連絡会

連絡先＊萌文社（ほうぶんしゃ）　〒102-0071　千代田区富士見１-５-12　TEL 03-3221-9008　FAX 3221-1038

第３回ホームヘルパー全国交流集会参加申し込み書					
名前		住所		TEL FAX	
どちらかに○を記入	ホームヘルパー全国連絡会の 会　員　・　非会員	参加する分科会	①　②　③　④　⑤　⑥　⑦ （詳しくは裏面をご覧下さい）	昼食弁当申込み ７５０円	要　・　不要

●●●●●●●●〈２月１６日の集会の日程と分科会の内容〉●●●●●●●●

10時～　　「ホームヘルパー全国連絡会」総会
　会員の方、または会員になられる方は、総会にご出席下さい。
10時45分～　全体会（非会員の方は、この全体会からの参加になります）
　①ホームヘルパーからホットな報告、②「今、私たちの地域では」リレートーク
　③どうやって事例検討をするか、「事例記入の仕方・ロールプレイ」
　また１月末には新しい介護報酬が決まりますので、この点についても話し合いをしたいと思います。
12時30分～１時30分　お昼休み
１時30分～４時45分　分科会（分科会終了後にそのまま解散となります）

〈分科会のテーマと内容〉

①第１分科会：ヘルパーの低い労働条件を改善し、より良いホームヘルプサービスをめざして

助言者・石田一紀（長野大学）、林上博之
登録、パート、非常勤、嘱託などの労働実態の交流、研修会や学習会をどのようにやっているか、ヘルパーの仕事上の悩みや相談の解決方法は？　感染症対策など。そして、新しい介護報酬単価の下での分析をします。（それぞれの労働条件の資料を事前に送ってくだればプリントして配布します）

②第２分科会：ホームヘルパーと医療的行為――その背景と問題点をさぐろう――

助言者・篠崎良勝（ヘルスケア総合政策研究所）
医療的行為と「やらざるをえない」その社会的背景、利用者のおかれている生活実態、医療連携の様子を事例を通して交流しましょう！

③第３分科会：痴呆高齢者への援助

助言者・岩田俊（精神科医）
痴呆の人が、その人らしく、暮らしの質を取りもどすため、また家族を含めての介護の視野を広げ、深めていく事例をもとに検討します。また、精神科医の医療的な見方を助言していただき学びます。

④第４分科会：精神障害者への援助

14年度から、精神障害者のホームヘルプサービスが国の制度として全国で実施され、試行錯誤が続いています。自治体により、体制・研修・実践の経験などがかなり違っています。情報交換をおこない、より良い制度や実践をめざしていきましょう。各地域の資料があればもってきてください。

⑤第５分科会：ホームヘルパーの専門性

助言者・是枝祥子（大妻女子大学）
ホームヘルパーの専門性の中で、とりわけ「ヘルパーの視点とは何か」について取り上げ、「実践」、「記録」、「考察」そして「訪問介護計画」という力動的援助を検証していきましょう。

⑥第６分科会：男性ヘルパーの役割と持ち味

今年も男性ヘルパーの分科会を設けます。生き生きと働く男性ヘルパーがいる一方、仕事が来なかったり、利用者との関係に悩んでいる男性ヘルパーもいます。参加者の経過と現状を出し合い、男性ヘルパーの役割や持ち味について話し合いましょう。女性の目から見た男性ヘルパーについての声も聞かせてください。

⑦第７分科会：10名に一人というけれど――主任ヘルパー・サービス提供責任者の悩み――

助言者・小川栄二（立命館大学）
“在宅の質”はサービス提供責任者で決まると言われるものの、財政的裏づけはどこに？　休みの穴うめで現場に出ることが多く「訪問介護計画」を立てる業務の前に、コーディネートや苦情処理など業務が山積み。現状とこれからを語り合いましょう。

◎事例を提供していただける方は、事前にホームヘルパー全国連絡会までご連絡ください。